

[アーカイブ版]

5月受験生向け 2月以降のスケジュールと ポイント

セミナー後半1時間：58合格者4名とリアルタイムQ&A

平林 2023.1/23(月)

【本日の内容】

はじめに ～5月短答に向けて必要な手続～ (出願2/6～2/27)

I 2月以降のスケジュール

- 1 5月短答突破に一旦集中するか？判断の目安 p.3
- 2 5月集中の場合 スケジュール例とポイント p.4
- 3 5→8生の場合 スケジュール例とポイント p.5-6

II 学習のポイント

- 1 テキストの理解・想起 p.7-11
- 2 得点に繋げる(ピーク合わせ/時間配分/やらかし対策) p.12-15
- 3 定期的にフィードバックを受ける p.16

III 各種サポートについて p.17-20

巻末参考資料 2021/2022 本試験素点資料等

配付資料 58合格者 失敗談とおすすめの学習法

アンケート結果(5月前までの論文対策)

はじめに ～5月短答に向けて必要な手続～

□【重要！】令和5年第Ⅱ回 5月短答式試験 出願手続
ネット出願の場合 2/6 - 2/27

□短答再チャレンジサポート制度の把握
通学生…**会員証書替が必要。**
通信生…自動で会員証書替・登録。

- ・2月中旬～下旬以降、各科目1回ずつ**短答フォロー講義**を必ず受講。
- ・3月下旬から5月短答向け短答直前答練3回+全国模試一回有り。

参照：Web School「講座からのお知らせ」欄

12/8 付「12月短答式試験終了後 受講カリキュラムについてのご案内」

□ 論文対策講義（以下、論対）登録

5月短答に集中する場合であっても、理解強化のため、
論対のうち、① 管理会計論 岡本講師と、②関西 監査論 岡田講師の講義を
3月末頃まで活用。

I 2月以降のスケジュール

1 5月短答突破に一旦集中するか？判断の目安

- テキストを読んでも理解できない。
●短答科目の基礎マスター・上級講義で、未受講の講義が多い。
→インプット未了
- テキストを読みながらでも、本試験の難易度A問題が解けない。
→インプット・演習の不足
- 計算に強く苦手意識があり、
理論科目の理解や直前期の結論暗記が終わるか不安。
→遅くとも2月中までに、計算テキスト・パワーアップ問題・
テキストチェックゼミ資料で場合分けの想起・整理など終わらせる。
- 短答問題集・短答基礎答練・短答アクセス・短答直前答練が未了。
→出やすい所・出題のされ方を把握できていない
- 短答問題集等で、出題された箇所の周辺復習・マーク未了。
→短答に向けて、回転・結論暗記の準備ができていない (p.10)
→メリハリを付けられていないため、適切に知識暗記が仕切れない。

上記の場合には、まずはこれまでの教材を使い、
理解強化・問題演習・回転の「下準備」を進める。

★3月末までは理論科目も理解を重視する。
直前期の丸暗記を減らす。

※別途配付 58合格者の失敗談集 参考

2 5月集中の場合 スケジュール例とポイント

※以下、答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
2月	(財計・管理 論文アクセス) (2/19 日吉校 短答基礎答練1…12月向けと同一。短期集中生向け。未受験者はデッドラインとして日程を参考にする。 2月中旬～下旬頃 短答フォロー講義 (各科目1回予定)	不足している力を分析。★計算が苦手な場合、2月末には固める。パワーアップ問題を活用。短答科目の未受講講義は早急に(2月末を目途)受講。大きな積み残しがなくなっていれば、財計・管理論文アクセスをペースメーカーとして活用。 財務理論のテキスト理解が不足している場合、3月末までであれば、講義を倍速で見直してもよい(後述)。 理解強化のため、関西 岡本講師 管理会計 論対は短答生も受講(特に前半)。 監査論はテキストチェックゼミ初回を受講。<u>理論科目について、納得感を重視。丸暗記を減らす。</u>
3月	(3/5 日吉校短答基礎答練2) 12月向けと同一。未受験者は日程参考 3/26(日)頃: 5月向け短答直前答練1	短答回転の下準備(p.)が未了の場合には、3月末には一通り下準備を済ませておく。 ★3月末まで、理論科目はテキストの理屈重視で進める。 積み残しがなくなっていれば、理解/計算力強化のため、財務計算/管理の論文アクセスのほか、短答科目の論文基礎答練(監査・企業はできれば応用も)を活用。 3月半ば又は末には、自分なりに積み残しがないように。
4月	4/16(日)頃: 5月向け短答直前答練2	★短答直前・回転期突入。3月末までに固めたテキストの理解を土台として、短答問題集等を復習しつつ、テキスト上の細かい知識の暗記開始。★直前期の回転…9/26 短答直前期レジュメ参照 ★直前答練2回目に、できるだけ照準を合わせるため4月から回転。自分なりに仕上げて受ける。 計算科目はおおよそ10-14日以内、理論科目は9~12日以内→7~9日以内1周など。
5月	5/6 頃: 短答全国模試 5/14(日)頃: 5月向け短答直前答練3 5/28(日): 短答式本試験	全国模試…本試験でも構わない状態を目指す。直前3…やらかし対策を仕上げる。※照準は本試験に合わせる。★最後の2週間で計算1周・理論科目は2週間で2周+付箋の箇所はもう1周など。

短答答練の準備/復習…7月実施上級ホームルーム動画・レジュメ参照

短答直前期の回転…9月実施短答直前期ホームルーム動画・レジュメ参照

(Web School「講座からのお知らせ」欄アーカイブページ)

3 5→8生の場合 スケジュール例とポイント 2・3月

●/○/太字下線…5月集中生との相違点※以下、答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
2月	●<u>財計・管理 論文アクセス（管理は理論部分含む）</u> ●<u>財計 論文基礎答練（2/6、2/13、2/27）</u> ●<u>管理 論文基礎答練（2/7、2/21、2/27）</u> ●<u>監査論 論文基礎答練※テキスト参照可（2/9、2/23、3/9）</u> ●<u>企業法論文基礎答練 ※テキスト参照可（2/9、2/17、2/24、3/10）</u> 2月中旬～下旬頃 短答フォロー講義（各科目1回予定） <u>○2/10-租税アクセス</u>	不足している力を分析。 <u>租税経営は状況に応じて、【無理の無い範囲で】講義消化・例題復習など。短答科目の強化を優先。法人税基礎9回分が優先。参考：配付資料 58合格者アンケート</u> ★計算が苦手な場合、<u>2月頭には固めたい</u>。短答科目の未受講上級講義は早急に受講。 財計・管理論文アクセスをペースメーカーとして活用。 財務理論のテキスト理解が不足している場合、3月末までであれば、講義を倍速で見直してもよい(後述)。 理解強化のため、関西 岡本講師 管理会計 論対は短答生も受講（特に前半）。 監査論はテキストチェックゼミ初回と<u>論文対策講義前半</u>を受講。 <u>理論科目について、納得感を重視。丸暗記を減らす。</u> ★租税法アクセスはテキスト参照可。5月短答後でもOK。参考：58合格者アンケート
3月	<u>できれば受験。監・企業は応用までで1周。</u> <u>○監査論 論文応用答練(3/23、4/6)</u> <u>○企業法・論文応用答練(3/17、3/31)</u> <u>○財計 論文応用答練（3/13、3/27）</u> <u>○管理 論文応用答練（3/21、3/22）</u> 3/26(日)頃：5月向け短答直前答練1	短答回転の下準備（短答問題集・アクセス・短答答練などを解き、テキスト周辺復習/強調）が未了の場合には、3月末には一通り下準備を済ませておく。 <u>論文の回転下準備を済ませておく。答練範囲に合わせ、理解強化・覚えるべき知識の特定。財理は「★★★」を中心に説明できるように。企業法の論証例の暗記は5月短答以降に。</u> ★3月末まで、理論科目はテキストの理屈重視で進める。 財務計算/管理の論文アクセス、短答科目の論文基礎答練受験。（監査・企業はできれば応用も）。 3月半ば、又は末には、<u>短答論文共に</u>自分なりに積み残しがないように。

企業法論文答練…全国模試以外はテキスト参照可（監査論もOK。財理は見ないで取り組む）。

復習時は分析。①テキストを見ないで書けた箇所 ②見たら書けた箇所（5月短答以降に覚える）③見ても書けなかった箇所（理解不足・読み取りや組立て△等）

3 5→8生の場合スケジュール例とポイント 4・5月

太字下線…5月集中生との相違点

※答練日程は日吉校を参考に記載

		ポイント
4月	4/16(日)：5月向け短答直前答練2	★短答直前・回転期突入。3月末までに固めたテキストの理解を土台として、短答問題集等を復習しつつ、テキスト上の細かい知識の暗記開始。 ★理論科目の論証暗記はストップ。短答向けのテキスト回転時に、軽く目に入れる程度。 ★租税経営は必ずストップ。特に、5月は短答科目の知識暗記に完全集中。 ★直前答練2回目に照準を合わせて回転し、上位を狙う。全国模試だと思って、仕上げて受ける。 計算科目はおおよそ10-14日以内、理論科目は9～12日以内→5月から7日以内など。
5月	5/6 頃：短答全国模試 5/14(日)頃：5月向け短答直前答練3 5/28(日)：短答式本試験	全国模試…本試験でも構わない状態を目指す。 直前3…やらかし対策を仕上げる。※照準は本試験に合わせる。 最後の2週間で、計算1周・理論科目は2週間で2周+付箋の箇所はもう1周など。

短答答練の準備/復習…7月実施上級ホームルーム動画・レジュメ参照

短答直前期の回転…9月実施短答直前期ホームルーム動画・レジュメ参照

(Web School「講座からのお知らせ」欄アーカイブページ)

Ⅱ 学習のポイント

まずは、分析。

12月短答式本試験について、難易度を確認しつつ、
初見で正解するためには何が足りなかったか？分析する。

テキストの理解・想起

得点に繋げる(ピーク合わせ/時間配分/やらかし対策)

これまでの教材で、どんな積み残しがあるか書き出す。

1 テキストの理解・想起

(1) テキストの理解

2月末頃までに目指す状態

- ◎ 理論科目について、規定の理屈について**納得感**がある。
- ◎ 複数論点で、**比較ができる**。共通点・相違点。
- ◎ **具体例**が挙げられる。

理解強化のため、論文対策講義のうち管理 岡本講師論文対策講義
監査論・・・岡田講師論文対策講義 を活用。

★財務理論のテキスト2－6章は倍速で受け直し、今のうちに
会計理論の基礎的な考え方を再確認した方がよい。
特に、5章 p.39～6章の p.55 資産会計総論 費用配分の原則。

財務理論・監査論 LINE オープンチャットの、ノート・質問回答活用(p.18)。
参加方法：Web School「講座からのお知らせ」欄

(2) テキストの想起

△テキストや解説を「見ればわかる」

◎テキストを想起し、本試験中に「使える」状態

★重要な箇所を覚え切るためには、メリハリが必要。

参考：合格者の学習法・失敗談集

(付箋/問題集からテキストへマーク/重要度を意識)

○様々なアウトプット教材を用いて、理解不足や、全く想起できない穴を探す。

★問題集や答練以外に、下記をアウトプット教材として活用。

財務理論 テキスト章扉 「word」

監査論テキスト節扉 「重要コンセプト」「学習上のポイント」

各科目テキスト目次

テキストチェックゼミ PDF/動画 (財務計算・管理・監査論)

※Web School「講座からのお知らせ」欄

◎重要概念やテキスト目次を見た際に、テキスト見開きのどこの位置にあったか、まずはページ構成をイメージ。問題を解く際も、テキストのどこが問われているか分かるように。(2月末まで)

参考：財務理論 重要概念一覧 (Web School「教材」欄)

【短答のための回転下準備】

(未了の場合、3月末までには実施)

- ①短答問題集から、テキスト周辺を想起
- ②テキストにマーク（直前期に強弱を付けて覚える準備）
- ③テキスト周辺を確認・理解不足やその他の重要な箇所復習

イメージ：受験上もリスクアプローチを意識する。

まずはリスク評価（出やすい所・出方を把握）

↓

- ◎ リスクの高低に応じて、強弱を付けて暗記など注力。
 - × 重要性の高い論点だけ取り組む
 - 重要性が相対的に低い論点は、分析的手続（出た場合にどこまでは押さえるか対応を決める、最低限の理解など）は取り組むなど。
- これまで「切って」いた論点については、（重要度を意識しつつ）3月末まで
はできるだけ回復。

[重要]アウトプット時のポイント（短答/論文・全科目共通）

◎問題を解いた後、テキストの周辺知識まで想起できるか？

→想起に大きな漏れがないか、**テキスト周辺論点確認**。

参考：12月末実施企業法/監査論 Q&A 宮内講師・岡田講師の回答共有

(Web School「教材」欄)

【論文向け】3月まで

財理 各章の論文論点をまず一通り確認。**回転下準備。**

答練出題範囲について、

論文重要度「★」に応じて何度も想起(納得感を大事に、丸暗記を減らす)。

重要度★★★・・・できるだけ専門用語を使って理屈が丁寧に説明できる。

★★・・・相手に伝わるレベルで、要点が説明できる。

[イメージ]将来経理部の方に処理の理屈を聞かれた際に、

一言でなんと説明するか？

参考：各科目 答案作成ポイント講義

財理論文学習法レジュメ/財務理論重要概念/

12/13 配信論文学習法セミナー (Web School「教材」欄)・

8月論文時

◎テキストを思い出して、論文で重要な論点を「説明できる」状態。

◎覚えていない箇所や知らない話が問われても、テキストの関連分野基礎知識を用いて2行ほど答えられる状態(部分点を取る練習。応用答練などで練習)

◎基準集が使える状態にする(5月短答以降でもOK)

・監査論・租税法・財務理論・企業法

【ポイント】論文時には、細かい短答の知識暗記は不要となる。

例：金利スワップ特例処理が使えるための条件・・・基準集に記載有り。

Q. 基準集を購入するタイミングは？

→2月以降で ok。

前年度のものを持っている場合、租税/監査は買い直す見込み。別途案内。
財理は4月にはTACからプレゼント予定だが、少し先になるため、古本で早め
に入手しても ok。

ネットで軽く見てみる場合には、会計基準のうち、「結論の背景」から手前は
本試験でも参照可能（定義・計算処理や要件部分など）。

結論の背景から後の**理屈部分**は、【略】とされて読めない。

→重要度を参考にしつつ、**テキストの理屈部分を覚える。**

3月末までに、金融商品会計に関する会計基準と、収益認識に関する会計基準
はまず見てみる。企業会計原則・連結会計や企業結合・事業分離なども便利。

参考：財理論文学習法レジュメ（Web School「教材」欄）

2 得点に繋げる

(1) ピークを合わせる

一度理解・覚えた知識を、本試験までに新鮮にし直すには？

計算や理論科目の【全体点検】

→試験前「10～2週間以内」を意識。

細かい暗記の精度が問われるもの・覚えにくいもの

→試験前「1週間以内」を意識。

付箋などを活用して、メリハリを付ける。

(2) 時間配分

原因例

○インプット不足

例：処理を間違えて数字が合わず、戻ることが多い。

★テキスト目次やテキストチェックゼミ資料を使った想起学習
を行い、計算処理の**想起スピード**を速くする。まずは正確性。

○アウトプット不足

例：単純に下書きのスピードが遅い。

計算で問題ごとの目安時間以内に解答できるまで練習。

(単になぞるだけの学習にならないよう、最低2週間空けるなど)

○試験中の難易度の読み取りや時間の見積ができない（特に管理）

短答管理会計論 時間配分で上手くいかない場合

→2022年10月配信安達講師 短答管理解き方セミナーを受講。

Web School「講座からのお知らせ」欄 [アーカイブページ参照](#)

○数字が合わない場合に、執着してしまう

→答練時、本試験だと思って切り上げを試す。論文アクセスも同様。

★自信が持てる基礎的な論点を増えてくると、
難易度が高い問題に執着しなくなる。

(3) やらかしを防ぐ工夫

【計算科目 短答/論文でよく伺う失敗談】

電卓を打つのが久々で、計算ミス。

同じ問題ばかりずっと解き直しており、
初見で慎重さが不足した。

【理論科目 短答でよく伺う失敗談】

- ・時間が余り、後で解答を間違った選択肢に変えた。
- ・最後の2週間テキストのみ見ており、
4肢形式での正誤判断が久々だった。

★短答直前期も、インプット確認・暗記だけでなく、

適宜本試験中の作業プロセス等を意識して、アウトプット練習を行う。

【理論科目 論文でよく伺う失敗談】

問題の重要な指示を読み飛ばし、論点ズレした。

参考：合格者の失敗談

◎解く際の行動を詳しく振り返る。

◎内容に応じて具体的な対策を立てる。初見の問題で試す。

これまでの積み残しがなくなっていれば、
論文アクセス・論文基礎答練など初見の問題を使って試す。
(ひっかけやダミーデータはなく、
短答アクセス/短答答練よりも素直な問題が多い。)

やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 月割計算がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。電卓は体の近くで打つ。
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所を書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

3 定期的にフィードバックを受ける

よく伺う失敗談

参照：合格者からのメッセージ集

- 完璧主義**に陥ってしまった。
- 重要度の強弱を付ける意識が足りなかった。
- 自己判断で、重要な論点を切ってしまうていた。
- 無理な計画を立て、睡眠時間を削り体調を崩した。
- 答練の実施がずれて投げやりな気持ちになり、放置してしまった。
- 科目の先生と話したことがなく、自分が「理解した気になっている」ことに気づけなかった。
- 人と話さず、アウトプットが足りなかった→**質問コーナー**で講師やチューターに**説明**することで、理解が強化されるようになった。
- 論文式試験合格者と話したことがなく、最終的にテキストについてどの程度の理解・想起が必要か、体感できていなかった。

※講師・チューターへの相談時、本試験・答練後に自己分析した結果や、本試験問題用紙冊子を持参すると効果的。

個別成績・学習方法相談（予約制）だけでなく、定期的に各科目の講師やチューター・合格者と相談。

本試験等の自己分析の結果や学習の方向性・優先順位が大きく誤っていないか、定期的に確認・軌道修正。

日々の自習時にも、
自己分析・改善を繰り返す。

Ⅲ 各種サポートについて

近日中の相談会

オンライン

1 / 2 7 (金) 19:30-20:30 58 合格者とリアルタイム Q&A (収録なし)

対面 ★相談会日程追加は公式 LINE でお知らせ(p. 19)

1 / 29 (日) 水道橋校 14-17 時 相談会 平林/藤野/合格者 8 名(58 合格者 2 名)

2 / 18・19 (土日) 広島/福岡 3 / 11・12 (土日) 札幌・仙台で相談会実施

試行運用

2 / 4 (土) 9—17 時 zoom 質問ルーム/自習室

【担当講師】 (運営: 平林)

9-11 時 財務計算 藤野講師

10-12 時 監査論 岡田講師

13-15 時 租税法 東海林講師

15-17 時 財務計算 竹内講師

15-17 時 企業法 宮内講師

その他 合格者 10 名質問待機 (常時 58 合格者 1 名待機)

その他現在確定

2 / 23 (木/祝) 9—17 実施 宮内講師 (16-18)

3 / 5 (日) 9—17 実施 宮内講師 (15-17)

3 / 21 (火/祝) 9—21 実施 岡田講師 (午前) 宮内講師 (16-18)

岡本講師 (19-21)

zoom のブレイクアウトルーム機能を使って、**講師・合格者 1 人対受講生複数**の質問ルームを講師ごと・合格者ごとに設定します。メインルームは自習室として、時折合格者の紹介をします。zoom 質問コーナーと操作方法是基本的に同様です。

当日、操作方法や何かお困りごとがありましたら、ヘルプボタンで平林が伺います。

LINEオープンチャットを活用した質問対応 【平林 学習法等相談用 別途新設】

詳細・・・Web School「講座からのお知らせ」欄

お知らせ

26

23目標 財理/監査論質問用 LINEオープンチャット

- テキスト・問題集等内容等に関する質問を、
財理:平林 監査論:岡田講師が承ります。
他の参加者に名前や連絡先が表示されることはありません。

※答練については、ネタバレ防止のため、
質問メール・質問コーナーをご利用ください。

- ★過去の質問/回答について、キーワード検索が可能です。
よくいただくご質問は、「ノート」にまとめます(短答向け格納済)。
他の方のご質問で理解が深まることもあるはずです。ご活用ください。

※通知が多いと感じたら、通知をオフにするか、
1度退会・後日質問希望時に再度参加してもOKです。

【参加方法】

23目標
Web School
「講座からのお知らせ」
欄内リンクから接続



下段の
「新しいプロフィールで参加」
ボタンを選択



STEP 1. 参加リクエスト時
以下2つを入力。

- ①TAC会員番号
- ②お名前(フルネーム)

例 ①000000 ②田中花子

※会員番号とお名前フルネームの入力がない場合、
恐れ入りますが、一旦参加リクエストをキャンセルとさせていただきます。
再度、「新しいプロフィールで参加」ボタンから参加リクエストをお願いします。

※申請後、「新しいプロフィールで参加」ボタンが表示される場合、
入力情報不足等により参加リクエストが一旦キャンセルされている状態です。



承認完了まで、
少々お待ちください。

過去の質問や
回答が表示されたら、
参加完了です。

【重要】公式 LINE による重要情報通知サービス

公式 LINE で、時期ごとのポイント・セミナー/相談会実施情報・答練出題範囲/講義日程公表等、見逃しがちな重要情報について平林からお知らせしています。

2月以降、下記3つのアカウントで状況別に配信します。
受け取りたい情報に応じて、選択/友達追加のほど、よろしくお願いいたします。

▼23 目標 論文関連情報 (LINE ID : @23tac_ron)

<https://lin.ee/HNXTlMw>

※論文関連情報についてのみ通知



▼【新設】23 目標 58 目標生向け (LINE ID : @23tac58)

<https://lin.ee/GZRizG1>

※短答/論文双方について、
関連情報を通知



▼23 目標 5 月専念生向け (LINE ID : @23tac_5)

<https://lin.ee/StnmHys>

※5 月まで短答関連情報のみ
通知を受け取りたい方向け



【アカウント移行に伴い、2月以降 メッセージ配信停止】

- ・短答初年度生向け (LINEID : @23tac)
- ・短答リスタート生向け (LINE ID : @23tac_tan)

質問コーナー・個別相談

● **質問・相談コーナー [校舎/zoom] (予約不要)**

質問コーナー日程表 ▶
(受講生HP「@C.P.A.」)

※日程表内「TA」…合格者チューター

質問コーナー日程表

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段
「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから
待機室へ（ビデオオフでOK。スマホからも接続可能）▶

● **個別成績・学習方法相談 (久野/塚本/平林/蓮尾/藤野) [校舎/zoom]**

毎週土曜日13時～次週1週間分をネット予約受付▶ <https://tacschool.resv.jp/>

※通常の質問コーナー（予約不要）でも、学習全般の質問を各講師が承ります。

日程表 (受講生HP「@C.P.A.」) ▶



[質問・相談コーナー | 公認会計士 | 資格の学校 TAC\[タック\] \(tac-school.co.jp\)](#)

★専念期間が3年以上などで将来への不安がある場合は、
就職サポートへ。転職・退職専念などの相談も可能。

講師への相談方法③

2022年12/12(月)顧客セミナー 今後のスケジュールとポイント 29

1

TAC会計士講座 就職サポート(相澤)【TAC生向け】

監査法人や会計事務所等への就活・転職以外にも、下記について相談可能。

- 一般事業会社への就職・転職
- 仕事を辞めて受験専念にするか
- 卒業後働きながら受験を継続するかどうか
- 受験対策を中断して就職する場合のエントリーシートの書き方等

フリーダイヤル 0120-527-699 (平日14～17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

※ 電話相談のほか、zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。
メールで希望日時等ご連絡ください。

12月短答以降スケジュール目安

12月	Input 強化 テキストの内容・基礎的な概念を理解し、口頭で説明できる状態に。初年度生も、租税法以外の論文対策講義を適宜活用(ゼロ円登録)。	Output 強化 Outputを通じて、Inputの穴を探す。足りない力を分析。	★4月までのアクセス・答練は、出題範囲有。 5月短答生も計算力アップ・理解強化のため適宜活用。	論文アクセス 論文答練	★全科目、テキストを大事に。納得感を持てるか。 テキストを閉じて、想起・説明できるか。 財理は2~6章など受け直してもOK。 ★4月までのアクセス・答練は、 範囲指定あり 。 準備して受験し、インプット・アウトプット双方強化。
1月					
2月					
3月	上級生は、インプット強化にWeb論点別講義を活用。(財理・監査論は全て受け直してもOK)	問題文の読み取りと素直な答え方、部分点の取り方等を身に付ける。	財務 計算 管理会計論 論文アクセス 前半10回	基礎答練 3回 (企業法は4回) ★問題文の読み取り、問への素直な答え方を身に付ける	【5月短答を受験する場合】 5月短答・8月論文ネット出願 2/6~2/27メ切 3月末までは、理屈重視。 状況に応じて論文アクセスなど活用。 4月に入ったら、論述対策や、租税法・選択科目はストップ。 短答知識暗記。 状況別のスケジュールについては12/12(月)セミナーで詳述。
4月		各種アクセス/答練のほか、3月末にかけて管理・監査論テキストチェックゼミや論文対策講義を活用。(気になる科目はガイダンスとして各1回目冒頭を受講)	2月頃 租税法 アクセス (先取りアクセス調整中)	応用答練 2回 ★応用的な問題での部分点の取り方、時間配分の練習等	
5月			4月末 論文公開模試 第1回 (5月短答生は短答後に活用)	理論補強答練1・2 (5月短答生は短答後に活用)	【5月短答を受験する場合】 3月末までは理屈重視 4月頃~ 回転期(短答向けの知識暗記) 3月後半 5月短答向け 短答直前答練1 4月頭 直前答練2 (照準を合わせる) 5月頭 短答全国模試 5月2週目頃 直前答練3
6月		正確性・スピード強化。	5/28(日)5月短答式試験	論文直前講義 各1回 財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2	全科目、 満足水準まで持っていけるか?
7月			6月末 論文公開模試 第2回 論文直前答練 3(監査企業のみ4回目あり)		
8月			回転期 インプット詰め&アウトプット力維持/強化 会計学計算...2週間以内に論点1周、 その他は7日~2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。		
			8/18- 論文式試験		

講義・教材の位置付け

【租税法 入門・上級講義】

- 入門9回(法人税基礎①)
- 上級1~8回 所得税・消費税・法人税基礎②
- 上級9~15回 各税法応用論点
- 上級16~18回 理論部分(5月生は5月短答後)

【経営学 講義】

- ファイナンス部分10回
- 戦略論・組織論部分 4月までに4回ほど・6月中までに3回ほど
- ★5月生は、ファイナンス部分10回か、
テキスト①の4回目まで受講、もしくは5月短答以降に受講など。

論文対策講義 ★初年度生の場合…手続を行えば視聴可能。
インプット強化の関西管理・関西監査論など適宜活用。(手が回ってなければアクセスと答練優先。)

【論文対策講義】(目的に合わせて適宜受講)

- 関東収録版:主にアウトプット強化のための過去問演習・解説など。財務計算は本年からテキストとの紐づきなど盛り込む。
通常の答練やアクセスが優先。租税は論文受験経験者向けの理論対策。
※特に財務理論は応用的な問題が多いため、テキスト優先。見るとしても、あくまで参考程度。
- 関西収録版:管理会計・監査論は、主にインプット強化。
論文の学習法・テキスト理解に悩んでいる受講生向け。

※論文対策講義について、詳しくは、各講義冒頭を受講。

- 【論文基礎答練】(★5月短答生もできれば活用)
形式に慣れる。問いに素直に答える練習。

【論文応用・直前答練・全国模試】

時間配分の練習。
難易度の高い問題のうち、取るべき箇所の見極め。
部分点を取る練習。
※租税・経営は、応用答練から理論部分を出題。

- 【論文アクセス】(★財務・管理は5月短答生もぜひ活用する)
[財務計算・管理(理論含む)・租税計算]

形式に慣れる。反復して復習。
取るべき箇所の見極め・メンテナンスに活用。
苦手な論点の強化に、難易度A部分を使う。

理論補強答練(4月頃要手続・会計学基準集プレゼント有り)

- 企業・租税・経営・・・通常の答練と同様の難易度・重要性。
- 財務理論・監査論
応用的・論点横断的な問題が多い。自習時の視点を新たにしたり、理解強化に活用。

※Web論点別講義…上級生コースに付属 インプット強化のための講義。
財務理論全87時間、監査論40時間など。企業法はピンポイントで活用。

財理・監査論は通常答練が優先。
5月生は短答後、本試験までに
参考として使う。

5→8生の強みと弱み(一般論)

強み😊

インプット面

- ◎8月論文の時点でも、**短答科目全般について、テキストの網羅的な知識・理解**を保持している。
自己判断で切っている論点が少ない。
特に理論科目について、テキストの基礎的な知識有り。
- ◎手持ちの論文教材が必要十分・適切な量に絞られている。問題ベースの学習偏重とならない。
- ◎テキストをより大事に、**重要な基礎論点を重視した学習**をする結果、論文で各科目バランスよく仕上がる。

アウトプット面

- ◎論証暗記が多少不十分な分、応用的な理論問題でもチャレンジし、基礎的な概念に基づいて
自分なりの解答で**部分点が狙う姿勢**がある。問いに対して素直に答えるため、余事記載や論点ズレが少ない。

弱み😞

インプット面

- △短答科目のテキストインプット・アウトプット強化について、3月末までに必達となる。論文対策講義は一部のみ受講となる。
- △**暗記すべき箇所や、基準集を頼る箇所等**がまだ把握できていない(3月末までに一通り把握)。
- △5月短答まで仮に短答問題集ベースで進むと、テキストの体系的な理解が不足し、論文に対応できない(短答も不安定)。
- △4・5月は短答科目に専念するため、租税・経営は平均近くを狙う戦略となる(状況に応じて講義受講)。
- △監査実務についてイメージし辛い(→監査論は、岡田講師論文対策講義を数回受講)

アウトプット面

- △問題文の読み取り・答え方、論文式試験中の時間配分等練習が不足しがち(3月又は6月末までに応用答練まで、本試験までに全ての答練復習)。
- △教材の総量、どの時期にどれぐらい忙しくなるかを体感できていない(→2・3月、6月はハードと心積もりしておく)

まずは、データリサーチを元に、**短答に向けて不足している力を分析。**

テキストをより大事に、3月末頃までを目途に**理解強化**。短答・論文共に暗記すべき箇所を把握。

無理のない範囲で論文アクセス・基礎答練・テキストチェックゼミ等を通じ、**アウトプット力をさらに伸ばす。**

参考：2021/22 本試験素点・偏差値分析（開示答案から分析）
令和3年（2021） 令和4年（2022）

2022.3.23時点					
科目	大問番号	偏差値40 素点目安	偏差値50 素点目安	偏差値52 素点目安	偏差値56 素点目安
監査論	第1問	10	15.5-16.5	17.5-18.5	19.5-20.5
	第2問	11	17	18	20.5-21.5
租税法	第1問	10-12	16	17	19.5-20.5
	第2問	11-12	22	23-24	27
会計学 午前 (管理会計論)	第1問	14-16	23	25	27-28
	第2問※	2	8	9.5	11.5
会計学 午後 (財務会計論)	第3問	16-17	25	27	30-31
	第4問	29	37-39	38-40	43-45
	第5問	15-16	26-27	28-30	34-36
企業法	第1問	5	15.5-16.5	17.5-18.5	19.5-22.5
	第2問	2-4	12-13	14.5-18	19-21
経営学	第1問	17-21.5	25-28	26-29.5	29-31
	第2問	15-16	21-22	22	25
統計学	第1問	31	40	41	47
	第2問	-	30-32	31-33	-
経済学	第1問	-	-	-	42で偏差値60
	第2問	-	-	-	43で偏差値58
民法	第1問	-	-	-	-
	第2問	-	-	-	-

※会計学第2問 素点8点→偏差値50
素点7点→偏差値48
素点6点→偏差値46
素点5点→偏差値44.8

2022.12.20時点					
科目	大問番号	偏差値40 素点目安	偏差値50 素点目安	偏差値52 素点目安	偏差値56 素点目安
監査論	第1問	9-13	14-15	15	17-23
	第2問	4	13-14	14	20
租税法	第1問	11	17	18	21
	第2問	20	29-30	32	36-37
会計学 午前 (管理会計論)	第1問	15-16	23	24-25	27-28
	第2問※	5-6	10-11	12	14
会計学 午後 (財務会計論)	第3問	32	40-41	41-42	46
	第4問	16-17	24	26	29
	第5問	16-17	26-27	29	33-34
企業法	第1問	7-8	15-16	19	20-22
	第2問	4-5	13	14	20
経営学	第1問	22	30	33	35-36
	第2問	15-16	23-24	25	29
統計学	第1問	23			39-40
	第2問				
経済学	第1問				
	第2問				
民法	第1問				
	第2問				

※会計学第2問 素点10.5点→偏差値49.2
素点9点→偏差値46.2
素点8点→偏差値44.4
素点7点→偏差値42.4
素点4点→偏差値36.6

【 M E M O 】